

閉会挨拶（3月11日）

東京大学公共政策大学院交通・観光政策研究ユニット（TTPU）の佐藤です。お疲れのところ恐縮ですが、閉会に当たり一言ご挨拶申し上げます。

まず、本日のセミナーにご登壇いただいた東京女子大の矢ヶ崎教授、由布市まちづくり観光局の桑野代表理事、新潟県津南町の桑原町長、経営共創基盤グループの富山会長、フランス観光開発機構のマゼンク在日代表、UNWTO 駐日事務所の本保代表、そして長時間にわたりお付き合いいただいた大勢の参加者の皆様に御礼を申し上げます。

さて、私ども TTPU では、2019 年 4 月から 3 年間、観光政策概論と観光地域政策の授業を行ってまいりました。本日のセミナーは、この 3 年間の「まとめ」に相当するものでありますが、逆に、今から 3 年前、私どもが観光政策の授業を開始するに当たって「キックオフイベント」として開催したのが、今スクリーンに映し出されている 2019 年 2 月の「観光の再構築～『シン・観光』を目指して～」と題するセミナーでありました。

当時は、インバウンドが年間 3,000 万人を突破した直後でしたが、私どもは、何を「軸」として授業で学生と考察を深めればよいか大いに頭を悩ませており、その悩みの表れがセミナーテーマにある『シン・観光』でありました。

このセミナーの登壇者の顔ぶれからもお判りのとおり、当時、私どもが、先に申し上げた「軸」として意識していたのは、「多様性」ということと「観光政策と他の政策分野との関係性」ということであつたと考えます。

あれから 3 年。観光を取り巻く環境は Covid19 により一変しました。大学院の授業も対面からオンライン中心に変わりました。一方、この間、授業では多数のゲストスピーカーをお迎えし、講義で様々なお話を伺ってきました。こうした中で、私どもが「軸」として強く意識するようになったことは、本日のセミナーにおいても主要な論点となった「持続可能性」であつたと考えています。

TTPU といたしましては、本日ご報告した観光有識者 100 名アンケートの結果も活かして、今後の観光政策の授業を通じ、我が国の経済成長や地域の課題解決に貢献できる観光の在り方と、その在り方を実現するための具体的な取り組みや政策手法について、「持続可能性」を主軸として具体的に考察していきたいと考えております。

なお、セミナー終了後、ご参加の皆様にアンケートを送付させていただきます

ので、本日のセミナーについて、あるいは、今後 TTPU セミナーで取り上げるべきテーマについてなど、率直なご意見をお聞かせ願えればと思います。皆様からのご意見を今後の T T P U の活動に活かしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、これからも私ども TTPU の活動をご支援いただく成田国際空港会社様、日本空港ビルディング様、東京国際空港ターミナル様、空港施設様、中部国際空港会社様、J R 東日本様、J R 東海様、東京メトロ様ほかの寄付者の皆様にご心より感謝申し上げます、私の閉会の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。